

自彊前進

題字 西村直子

NO. 6 令和4年4月22日(金)
新潟大学附属新潟中学校 学校だより
文責 教頭
※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

第49回ときわ体育祭

一、二、三年生が縦割りとなり、各連合がそれぞれの特色を出しながら、「自主独立、協同」の実現を目指して創り上げる行事が附中の体育祭である。生徒は、この行事を通して大きく成長をしていく。

50周年記念誌『創造の半世紀』からの抜粋です。

昭和49年に始まったときわ体育祭——今年度で49回目を迎えます。当初は、附属校として、小学校と合同開催だったようです。昭和48年に、附属校創立100周年を迎えたのを機に、小学校5、6年生がもっと主人公になり、中学生がもっと体力や知力を発揮できる手立てとして、分離開催に踏み切ったと記されています。

公立の中学校では、多くが9月に実施される体育祭ですが、附属中学校では5月実施にこだわってきました。もう一つ公立の中学校と異なる点があります。それは、連合ダンスや総ダンスが、得点化されず、ランク付けがされないという点です。多くの公立校では、ダンス等は応援賞に反映されたりしますが、附属中学校ではそうしてきませんでした。なぜ先輩たちは、得点にならないダンスに多くの時間を割き、熱を入れて、創造的な振り付けを披露してきたのか。その理由は、ダンスが団結を強めることを目的としていたからです。その目的を達成するために、他の連合と競り合うのではなく、一、二、三年生の縦のつながりを重視してきたのです。

『一年の計は元旦にあり』とよく言いますが、附属中学校では『一年の計はときわ体育祭にあり』です。行事当日のみが「本番」ではありません。準備の過程すべてが「本番」です。すなやま完歩大会と合わせたスローガン『First Impact』の通り、最初の大きな一歩を踏み出そう！



平成9年度の応援合戦の様子



平成元年学年ルーの様子



平成18年度の連合ダンスの様子